

小規模企業景気動向調査

[平成17年4月期調査]

業種により一進一退が見られるものの、低迷続く小規模景況

平成17年 5月 16日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成17年4月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

4月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体の D.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス 22.7(前月比マイナス 1.6 ポイント)、採算がマイナス 27.6(同マイナス 1.6 ポイント)、資金繰りがマイナス 26.1(同マイナス 1.8 ポイント)、業況がマイナス 31.1(同マイナス 2.9 ポイント)となった。製造業は天候不順や原料高騰が影響し悪化傾向となっている。建設業は、公共事業受注の減少との回答が多く、悪化傾向が見られた。小売業はコンビニ及び大規模商業施設の出店影響を受け悪化傾向が見られた。サービス業では、大型連休での旅行需要が牽引し、大幅な回復傾向を見せている。今月期は、サービス業と他 3 業種との格差が露呈される調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がマイナス 7.1(前月比マイナス 2.7 ポイント)、採算がマイナス 19.9(同マイナス 8.2 ポイント)、資金繰りがマイナス 17.8(同マイナス 6.5 ポイント)、業況がマイナス 18.1(同マイナス 5.7 ポイント)となった。自動車部品製造業の好調維持が見られる反面、原材料及び燃料の値上がりによる機械金属製造業の低迷や食品製造業における天候不順による材料不足が売上げ不振を招いたなど全ての項目にて悪化した。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス 33.7(前月比マイナス 8.9 ポイント)、採算がマイナス 41.1(同マイナス 2.4 ポイント)、資金繰りがマイナス 42.5(同マイナス 6.6 ポイント)、業況がマイナス 42.3(同マイナス 6.5 ポイント)となった。各地の災害復旧需要により、回復傾向にあるとの回答があるものの、市町村合併特需が落ち着いたなどの回答が多く見られ、全ての項目にて悪化した。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス 33.4(前月比マイナス 4.6 ポイント)、採算がマイナス 30.8(同マイナス 1.3 ポイント)、資金繰りがマイナス 29.2(同マイナス 1.5 ポイント)、業況がマイナス 39.1(同マイナス 4.4 ポイント)となった。市町村合併による昼間人口増加の影響など回復傾向にあるとの回答がみられたものの、コンビニや郊外大規模商業施設による消費者離れが激しいとの回答があり、全ての項目にて悪化した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス 16.6(前月比プラス 9.8 ポイント)、採算がマイナス 18.5(同プラス 5.6 ポイント)、資金繰りがマイナス 15.0(同プラス 7.3 ポイント)、業況がマイナス 24.6(同プラス 5.1 ポイント)となった。好天に恵まれた大型連休により旅館業に明るさが感じ取れるとの回答が多く見られ全ての項目にて改善した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 21.1	▲ 22.7	▲ 1.6	▲ 4.4	▲ 7.1	▲ 2.7	▲ 24.8	▲ 33.7	▲ 8.9
採算	▲ 26.0	▲ 27.6	▲ 1.6	▲ 11.7	▲ 19.9	▲ 8.2	▲ 38.7	▲ 41.1	▲ 2.4
資金繰り	▲ 24.3	▲ 26.1	▲ 1.8	▲ 11.3	▲ 17.8	▲ 6.5	▲ 35.9	▲ 42.5	▲ 6.6
業況	▲ 28.2	▲ 31.1	▲ 2.9	▲ 12.4	▲ 18.1	▲ 5.7	▲ 35.8	▲ 42.3	▲ 6.5

業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 28.8	▲ 33.4	▲ 4.6	▲ 26.4	▲ 16.6	9.8
採算	▲ 29.5	▲ 30.8	▲ 1.3	▲ 24.1	▲ 18.5	5.6
資金繰り	▲ 27.7	▲ 29.2	▲ 1.5	▲ 22.3	▲ 15.0	7.3
業況	▲ 34.7	▲ 39.1	▲ 4.4	▲ 29.7	▲ 24.6	5.1

注) D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:企業支援部 市場開拓支援課 平田 TEL: 03-3503-1256(直通)

E-mail: shijo@shokokai.or.jp